

科目名	インドネシア学入門Ⅱ					
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照			
開講期	秋学期	開講学部等	外国語学部	配当年次	1 年次	単位数 2 単位
教員名	山口 玲子					

授業概要／Course outline

インドネシア語を習得するには、その背景にあるインドネシアという国の実情を知り、人々の考え方や発想法を学ぶことも必要である。さらにそれによりインドネシア語の特徴をより深く理解し、親しみも増し、その習得がより確実なものになっていく。この授業は、インドネシアの諸事情についての知識を身に付け、それをインドネシア語習得に役立てていけるようにするのが目的である。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：プレゼンテーション）

教科書に掲載されている60項目について、PowerPointを用いたプレゼンテーションで授業を進める。

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド授業はMoodle、Teamsで行う。

授業内容・授業計画／Course description・plan

これまでに学修してきたことに加え、自然、暮らし、文化・芸術、教育・宗教、政治、地域紛争とテロ、経済、開発、インドネシアと日本について、教科書に掲載されている具体例を取り上げながら、現代インドネシアの文化的側面を学修する。授業は学生の発表で進めるので、各自準備を怠らないこと。また、質疑応答で即答できなかった質問については、各自調べて回答を用意しておくこと。

第1回 テーマ：春学期の復習

春学期に学修したインドネシアの基礎知識を再度確認する。

第2回 テーマ：「第1章 インドネシアへ行こう」、「第2章 インドネシアになるまで」、「第3章 多様性のなかの統一」、「第4章 地理」についての発表および質疑応答を行う。

第3回 テーマ：「第5章 湿潤熱帯のモンスーン」、「第6章 動物」、「第7章 植物の楽園」、「第8章 地震・津波・火山噴火 災害大国?」、「第9章 民族と暮らし」についての発表および質疑応答を行う。

第4回 テーマ：「第10章 工場労働者とモノ売り」、「第11章 ジャワ農村で農業をして生きる」、「第12章 漁村に暮らす」、「第13章 ムスリムの暮らし」、「第14章 ジェンダー」についての発表および質疑応答を行う。

第5回 テーマ：「第15章 健康と病気」、「第16章 インドネシアの近代文学」、「第17章 歌で語り音でつながる」、「第18章 インドネシアの伝統染織」、「第19章 住居」についての発表および質疑応答を行う。

第6回 テーマ：「第20章 食」、「第21章 ファッション」、「第22章 ポピュラー・カルチャー」、「第23章 観光」、「第24章 インドネシア語」についての発表と質疑応答を行う。「教員－学生間の対話」を実施する。

第7回 テーマ：「第25章 学校教育」、「第26章 宗教」、「第27章 イスラーム」、「第28章 ヒンドゥー教とバリ人」、「第29章 民間信仰」についての発表と質疑応答を行う。

第8回 テーマ：「第30章 近現代史概説」、「第31章 9月30日事件とその後の虐殺」、「第32章 スハルト体制と民主化」、「第33章 国会と選挙」、「第34章 国軍・警察」についての発表と質疑応答を行う。

第9回 テーマ：「第35章 人権」、「第36章 汚職」、「第37章 外交」、「第38章 東ティモール問題」についての発表と質疑応答を行う。

第10回 テーマ：「第39章 アチェ」、「第40章 パプア」、「第41章 民族紛争と宗教紛争」、「第42章イスラーム急進派の動向」についての発表と質疑応答を行う。

第11回 テーマ：「第43章 インドネシアの経済史」、「第44章 財政と金融」、「第45章 産業構造の変化」、

「第46章 農業」についての発表と質疑応答を行う。

第12回 テーマ：「第47章 貿易構造の変化」、「第48章 労働」、「第49章 海外出稼ぎ労働者の人権問題」、「第50章 人口の地域的偏在と移住政策」、「第51章 エネルギー開発」についての発表と質疑応答を行う。

第13回 テーマ：「第52章 鉱山開発」、「第53章 原子力発電所」、「第54章 森林の開発と保全」、「第55章 農園開発」についての発表と質疑応答を行う。

第14回 テーマ：「第56章 トコ・ジュパンとからゆきさん」、「第57章 来日する移住労働者」、「第58章 日本軍政」、「第59章 戦争賠償」、「第60章 ODA」についての発表と質疑応答を行う。
「学習成果実感調査」を実施する。

★オンデマンド テーマ：レジュメについて

発表に向けてレジュメを作成するためのポイントを説明する。(30分)

★オンデマンド テーマ：プレゼンテーションについて

プレゼンテーションについて説明する。(30分)

★オンデマンド テーマ：レポートについて

レポートについて説明する。(30分)

いずれも配信日時については決まり次第、授業内およびMoodleで連絡する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回 テーマ：春学期の復習

〔事前学修〕 春学期で学んだ内容の振り返りを行っておくこと。次週第1章から第4章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。

〔事後学修〕 次週第1章から第4章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第2回 テーマ：第1章から第4章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週第5～9章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。

〔事後学修〕 次週第5～9章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第3回 テーマ：第5章から第9章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週第10章から第14章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週第10章から第14章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第4回 テーマ：第10章から第14章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週第15章から第19章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週第15章から第19章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第5回 テーマ：第15章から第19章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週第20章から第24章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週第20章から第24章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第6回 テーマ：第20章から第24章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週第25章から第29章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週第25章から第29章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第7回 テーマ：第25章から第29章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週30章から第34章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表に

において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週30章から第34章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第8回 テーマ：第30章から第34章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週第35章から第38章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週第35章から第38章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第9回 テーマ：第35章から第38章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週第39章から第42章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週第39章から第42章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第10回 テーマ：第39章から第42章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週第43章から第46章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週第43章から第46章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第11回 テーマ：第43章から第46章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週第47章から第51章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週第47章から第51章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第12回 テーマ：第47章から第51章についての発表および質疑応答

〔事前学修〕 次週第52章から第55章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週第52章から第55章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第13回 テーマ：第52章から第55章についての発表および質疑応答。

〔事前学修〕 次週第56章から第60章について発表する学生は、レジュメ提出の準備をしておくこと。前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 次週第56章から第60章について発表する学生は、発表の準備をしておくこと。発表しない学生は、各章の質問点をまとめておくこと。

第14回 テーマ：第56章から第60章についての発表および質疑応答。

〔事前学修〕 前回の発表において質疑応答で即答できなかった質問に対する回答を用意しておくこと。

〔事後学修〕 第56章から第60章についての質問に対する回答は、別紙にまとめ後日提出すること。第1章から第60章までを読み直し、授業全体のまとめを行なうこと。

★オンデマンド テーマ：レジュメについて

〔事前学修〕 各自担当する章の内容を確認しておくこと。

〔事後学修〕 レジュメの準備を行うこと。

★オンデマンド テーマ：プレゼンテーションについて

〔事前学修〕 各自担当する章の内容を確認しておくこと。

〔事後学修〕 プレゼンテーションの準備を行うこと。

★オンデマンド テーマ：レポートについて

〔事前学修〕 どのようなテーマでレポートを作成するか考えておくこと。

〔事後学修〕 オンデマンド授業での解説を踏まえ、レポートを書くこと。

※ 各授業に対する事前・事後学修は約180分を目安とし、合計で2,700分程度である。上記内容を確認して、しっかり事前・事後学修を行うこと。

授業の到達目標／Expected outcome

授業で扱う具体例を通して、インドネシアに対する知識を深く理解できるようになること。毎回の学生による発

表を注意深く聴き、意見を述べることができるようになること。	
身につく資質・能力／Competencies to be attained	
・思考力	専門知識・専門技能 【外国語学部 アジア言語学科】 ・異文化理解 ・世界情勢と学習言語圏の理解
履修上の注意／Special notes, cautions	
与えられた課題は必ず期間内にやり遂げること。	
評価方法／Evaluation	
レポート40%、プレゼンテーションによる発表40%、平常点(授業への積極的参加度合) 20% プレゼンテーション終了後に、その内容に関してのフィードバックを行う。	
教 材／Text and materials	
教科書：村井吉敬、佐伯奈津子、間瀬朋子編著者『インドネシアを知るための60章』（明石書店、2013年）	
質問や相談の方法／Instructor contact	
授業に関する質問や相談がある場合は、授業終了後に質問するか、初回授業時時に連絡するメールアドレスへ質問すること。	